

[In Chinese - 中文版](#)[In English](#)[In French - en français](#)[In German - auf Deutsch](#)[In Italian - in italiano](#)[In Japanese - 日本語で](#)[In Korean - 한글](#)[In Russian - на русском](#)[In Serbian - на српском jeziku](#)[In Spanish - en español](#)

## IFCMからのお知らせ

## 世界合唱シンポジウム、カタール・ドーハ

2023年12月30日～2024年1月5日

WSCM2023/2024チームより、次のIFCM世界合唱シンポジウムのロゴをご紹介します。不毛の砂漠が特色である国において、緑の地は人々を強く引きつけます。実際に経験してみずに、その力を完全に理解することは到底できないでしょう。それは全感覚に働きかけます。気温の急降下、生い茂る草木と土のにおい、湿気を帯びた空気。そのすべてが、灌漑農地への到着を告げるのです。そして、砂漠から肥沃な土地に入ったことを告げるもうひとつのヒントは、鳥たちの歌声です。砂漠ではほとんど音がしません。これとは正反対に、オアシスの鳥のさえずりは、歓迎に満ちた音楽の爆発です。



W S C M  
**2023-24**  
 World Symposium on Choral Music  
**QATAR** 30 DEC 2023  
 05 JAN 2024



カタールのこの自然の背景音には、さまざまな種類の歌う鳥たちが貢献しています。こうした鳥たちの一種、マイナ・バードはいたるところで見られます。南アジア原産のマイナは現在、地球上のあちこちで、すっかりおなじみの存在となっています。世界の一部の地域で侵略者とみなされる一方、カタールでは、ずいぶん昔から他の種類の鳥たちと仲よく共存しており、カタールで暮らす他の多くの者たちと同様、世界と強いつながりを持つ一居住者にすぎないのです。

マイナ・バードは歌の名人です。彼らは実にさまざまな音や調べを使って、コミュニケーションを取り合います。人に育てられたマイナが、人間の言葉を完璧にまねられるようになった例も多数あります。合唱界を模倣するかのよう（あるいは、合唱界のほうが彼らを模倣しているのかもしれませんが）、マイナ・バードには、夕暮れ時に集まって大群で大合唱するという、ひときわ目を引く習性があります。カタールでは、日が沈むころ、カタラ文化村やアル・ビッダ・パークの木立や遊歩道を歩くと、このガラ公演を聴くことができます。カタールのマイナたちは、2023/2024年に備え、すでに練習を始めています！

WSCM2023/2024のロゴとして選ばれた図柄は、エジプトのグラフィック・アーティスト、マハムード・タンマムによる作品です。アラブの書家、タンマムは、WSCMのアラビア語の頭文字を用いて、翼を広げたマイナ・バードの姿を奇抜に描いています。特徴的な黄色いくちばしと黒い体。そのアクセントは、ひと筆でさっと描かれたワインレッドの翼です。この翼の色はカタールの国旗をイメージしたのですが、それと同時にこの図柄全体





は、世界市民でもあり、現地の名高い歌手でもある鳥に、いいぞ、と言っているのです。  
引き続き、WSCM2023/2024のウェブサイト([website](#))にご注目ください。合唱団、声楽アンサンブル、講師の募集について、追ってご案内いたします。

### 2022年IFCM合唱作曲コンクール

国際合唱連合は、2010年にこのプロジェクトが発足して以来、4度にわたり国際合唱作曲コンクールを実施してきました。このコンクールの目的は、画期的で手の届きやすい新しい合唱曲の創作を促し、世に広めることです。

IFCMは、新たな合唱作品を普及させ、また、21世紀の合唱団のニーズに合った革新的な曲作りを促進するために、第5回国際合唱作曲コンクール([Fifth International Competition for Choral Composition](#))を実施することをここに発表いたします。

現代のグローバルな問題に呼応する、独創性、想像性、創造性を併せ持つ作品を楽しみにお待ちしております。

[こちらで規約をご確認ください](#)

応募の締め切りは、2022年1月15日です。

### ICBが創刊40周年記念のフォト・コンテストを開催します

現在、わたしたちはみな、家に閉じ込められていますが、IFCMの機関誌ICB([International Choral Bulletin](#))はずっと忙しく世界を駆け巡っています！ みなさんはどこでICBをお読みでしょうか？ ハンガリーの山、セント・ローレンス川のほとり、アイルランドの岸壁のもと、それとも、コルディエラス山系のどこか？ 木の下で？ あるいは、猫を膝に乗せて、暖かなストーブの前で？ ICBを読んでいるあなた自身を写した写真をわたしたちにお送りください。美しく、独特で、エキゾチックな写真——お住まいの土



**ICB**  
**40th Anniversary**  
**photo contest**

We've all been stuck at home ... but the ICB has been busy circling the globe!  
Where do you read yours?

**Send us your most beautiful, unusual, exotic photo of yourself reading the ICB!**

The most original photo will be given a prominent place in our October 2021 anniversary edition!

Send your picture to [icb.editor@ifcm.net](mailto:icb.editor@ifcm.net)  
by 25 August 2021



地を象徴するような場所で、特にお好きな風景に囲まれて撮ったものや、お持ちのICBのうちいちばん古い号と一緒に写っているものをお願いします。

もっとも独創的な写真は、2021年10月に刊行される創刊40周年記念号に大きく掲載させていただきます！

応募作品は、2021年8月25日までに、[icb.editor@ifcm.net](mailto:icb.editor@ifcm.net)宛にお送りください。

### ICBアンケート、結果報告

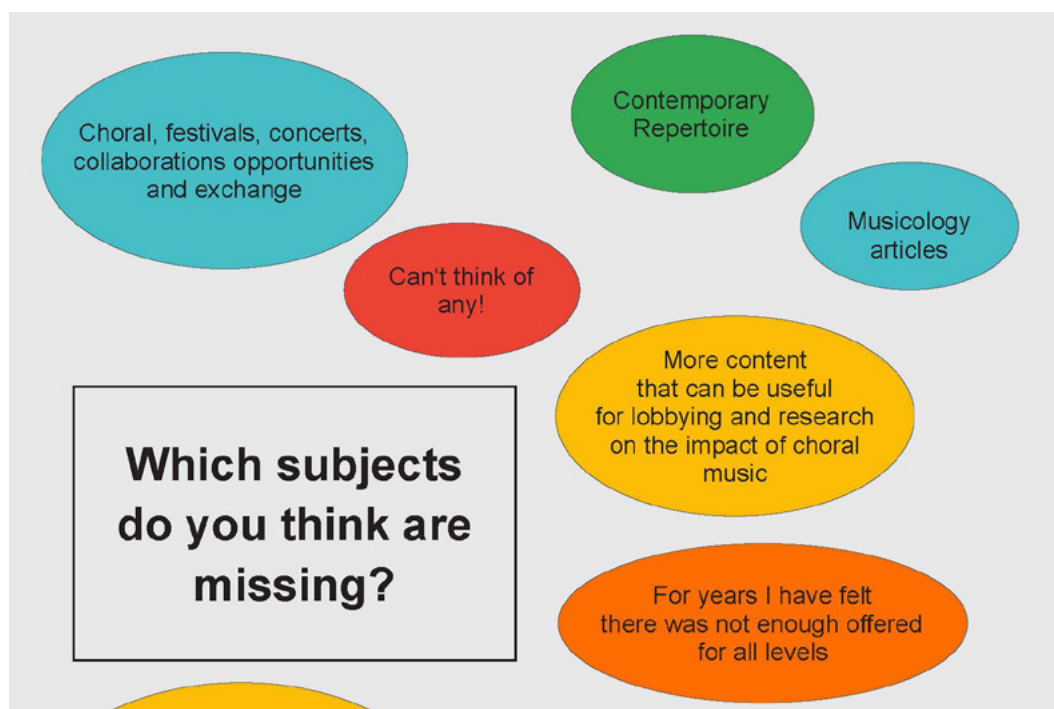
みなさんのご協力に感謝します！

30の国から92名の方々が、ICBのアンケートにご回答をお寄せくださいました。実にその半数が15年以上継続してICBを読んでくださっていました！ 図書形態に関しては、回答者の3分の1が電子版のみを購読、3分の1が紙版のみを購読、3分の1が双方を併用という結果でした。こういった情報は、わたしたちにとって非常によい判断材料となります。今回の結果に照らせば、電子版のみを刊行することにした場合（現時点ではこの選択肢はありませんが）、ICBは読者の30パーセントを失いかねないわけです。

もっとも読まれているコーナーは、“コーラル・ワールド・ニュース”と“ドシエ (Dossier)”（各30パーセント）でしたが、読者の20パーセントは、特にどれとは限らず、すべてのコーナーを同じように興味を持って読んでくださっていました。また、アンケート回答者の78パーセントが各記事の長さに満足している一方、21パーセントの方々は記事が長すぎると感じていました。（この割合はもっと高くなるものと予想されていたため、編集委員会はすでに2021年春に記事の長さを1000～1200ワードに制限することを決定しています。）

驚くことではありませんが、英語版がもっともよく読まれていました（紙版が英語版のみであることもこの結果の一因であろうと思われます）。したがって、各国語への翻訳を削除した場合に失う読者は35パーセントとなります。

とりわけ興味深かったのは、回答者のみなさんがどのトピックを惜しんでいるかです。







もっとも多く挙げられたのが楽曲分析、および、科学的音楽理論、次いで、“ヒューマン・ストーリー”“合唱団の運営”“若い歌い手たちのための情報”“多様性と受容性”に対し、熱い反応が寄せられました。

みなさんの貴重なご回答は、今後の編集会議に必ず活かしていきます！

[アンケートの全回答は、こちらでご覧ください。](#)

### アフリカ・カンタート

昨年のオンライン版アフリカ・カンタートの士気を維持して

アフリカ・カンタート組織委員会より、うれしいお知らせです。アフリカ・カンタートは、2021年8月から2022年8月にかけて、オンライン・イベントを3つ予定しています。この一連の合唱イベントは、2021年8月28日に、前回成功したZoomライブ・イベントの第2弾から始まります。東アフリカ時間の午前10:00から午後1:00まで、当フェスティバルの運営委員会が、すでに1年以上つづいているコロナ禍での合唱界の困難にもめげず、すべての人がつながり、交流するための場をふたたび提供します。

この日のためにスケジュールを空けておきましょう。[アフリカ・カンタート](#)による今後のイベントの情報にも引き続きご注目を！

## IFCM創設メンバーからのお知らせ

### ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)




ヨーロッパ合唱連盟のオンライン・キャンペーン、2021年5月19日～7月31日  
歌うことの恩恵(#BenefitsOfSinging)

ヨーロッパ合唱連盟は、“誰もが集団歌唱の恩恵を享受できる世界”という野心的なビジョンを描いており、そうした世界の実現に向け、努力を傾けています。

わたしたちは現在、これまで以上に、力を合わせて行動する必要があります。ヨーロッパ全土および世界各地の合唱機関、合唱団、個人が、合唱界の代表者として声を合わせ、合唱音楽が国レベル、国際レベルで、社会の関心の的になるように、また、意思決定者らの協議事項になるように、働きかけねばなりません。

Let's have the whole world experience the  
**#BenefitsOfSinging**



May 19 - July 31    



そこで、ヨーロッパ合唱連盟は、5月19日～7月31日、集団歌唱の恩恵を宣伝するオンライン・キャンペーンを行っています。みなさんもぜひ、個人、国、または、地域の活動提起(CTA)を作成し、その活動提起と、みなさんがすでに携わっている既存の活動とをリンクで繋いでいただきますようお願いします。次の問いに答えるかたちで、ご自身のCTAを作ってください——「歌うことは、わたしのためになっている。他の人々にも集団歌唱の恩恵を享受してもらうために、わたしにはいま、この環境下で、何ができるだろうか？」または、みなさんがすでにお持ちのコンテンツとこのキャンペーンとをリンクで繋いでください。

#### キャンペーン・コンテンツの翻訳

キャンペーン・コンテンツの翻訳に協力すること(より多くの人々に訴えかけるために、それを公開すること)で、みなさんはこのキャンペーンに大きく貢献することができます。すでに、英語、オランダ語、トルコ語、ドイツ語、ロシア語版のグラフィックもあり、イタリア語、セルビア語、アラビア語、ルーマニア語版は制作中です。それらのグラフィックはすべて、こちらでごらんいただけます。[the website](#)

#### 増やし、広める

できるかぎり多くの人々に訴えかけるために、キャンペーン期間中にぜひ、みなさんの国でキャンペーンのメッセージを拡散させてください。わたしたちは、国レベルで人々に訴えかけ、このオンライン・キャンペーンを通じて歌うことの恩恵を広く知らせたいと思っています。ご自身がお持ちのネットワークに、また、このオンライン・キャンペーンに参加しそうな仕事仲間に、キャンペーンのツールキットを行き渡らせてください。

情報交換し、ハッシュタグ、[#BenefitsOfSinging](#)を利用しましょう！

一緒に声をあげ、“歌うことの恩恵”( [#BenefitsOfSinging](#) )を世界の人々に思い出させましょう！



#### 全米合唱指揮者協会(ACDA)

ACDAバーチャル全国大会、音楽における多様性( [Diversity in Music](#) )は、大成功のうちに終わりました。個人の希望者には、期間限定ですが、まだ参加のチャンスがあり、ご登録いただければ、2021年12月まですべてのセッションと演奏の録画を視聴できます。

2022年ACDA地域別カンファレンス( [regional conferences](#) )の計画は着々と進んでいます！

- ・ 東部(マサチューセッツ州ボストン)——2022年2月9日～12日
- ・ 中西部(イリノイ州シカゴ)——2022年2月16日～19日
- ・ 南部(ノースカロライナ州ローリー)——2022年2月23日～26日
- ・ 南西部(アーカンソー州リトルロック)——2022年2月28日～3月3日



- ・ 西部(カリフォルニア州ロングビーチ)——2022年3月2日～5日
- ・ 北西部(ワシントン州スポケーン)——2022年3月9日～12日

ACDAは最近、全国規模のウェブセミナーをふたつ実施しました。ひとつは、礼拝における音楽を、もうひとつは、中学・高校の合唱教育の活性化をテーマとしたものです。いずれもアメリカ合衆国の背景に合わせた内容となっていますが、もしご興味があれば、ACDAの“ナショナル・ウェビナー・ページ”([National Webinars page](#))から、録画とパンフレットを無料でご入手いただけます。



## IFCM会員からのお知らせ

### ニュージーランドの合唱の伝統をさぐる

ニュージーランド合唱連盟(NZCF)のコーラル・コネクト([Choral Connect](#))代表者会議が2021年7月14日～17日にオークランドで開かれ、“アオテアロア・ニュージーランドの合唱の伝統”というテーマに取り組みます。ニュージーランド在住の参加者は直接、出席できますが、それと同時に、この会議は世界各地の参加者に生配信もされます。各セッションは、2021年12月31日までオンラインでご視聴いただけます。

会議では、芸術監督カレン・グリリスの司会により、マオリ族や太平洋諸島の音楽の演奏に関するディスカッションが行われます。また、合唱界の象徴的存在、ボブ・チルコット、アンドレ・デ・クアドロス、ソフィ・ジャンナンがZoomによるQ & Aセッションに参加し、より幅広くさまざまなトピックを取りあげます。会議の期間中は毎日、一日の終わりに、ニ



ユージーランドの合唱団の出演する演奏会が開かれます。

詳しくは[こちら](#)をごらんください。

コーラル・コネクト2021について、もっと知りたい方は、[choralconnect@nzcf.org.nz](mailto:choralconnect@nzcf.org.nz)宛にEメールでお問い合わせいただくか、コーラル・コネクトのウェブサイト([webpage](#))をごらんください。参加のお申し込みは、[Hopin](#)からどうぞ。



## ヨーロッパ音楽評議会が新理事を選出

ヨーロッパ音楽評議会(European Music Council-EMC)は、年次会議において、次の任期(2年)の新理事を選出しました。

新しいEMC理事会は、EMCの団体会員の代表7名により構成されており、当評議会の活動内容と戦略の概要を決定することになっています。

理事長: Victoria Liedbergiusーヨーロッパ合唱連盟より  
([European Choral Association – Europa Cantat](#))

副理事長: Audrey Guerreーヨーロッパ・ライブ音楽協会ネットワークより  
([Live DMA - European Network for Live Music Associations](#))

財務担当: Willem van Moortーヨーロッパ音楽学校連合より  
([The European Music School Union \(EMU\)](#))

### 理事

- Joanna Grotkowskaーポーランド音楽評議会より([The Polish Music Council](#))
- David Zsoldosーハンガリー音楽評議会および青少年音楽国際連合より  
([The Hungarian Music Council](#), [Jeunesses Musicales International](#) (JMI))
- Harrie van den Elsenーヨーロッパ音楽学校協会より  
([European Association of Conservatoires](#) (AEC))
- Michalis Karakatsanisー国際音楽情報センター協会より  
([International Associations of Music Information Centres](#) (IAMIC))

詳細はこちらをごらんください。<https://www.emc-imc.org>



## ミサタンゴ合唱祭、2021年11月26日～30日、オーストリア・ウィーン

サウル・ザクスの指揮、作曲家マルティン・パルメリのピアノ演奏により、国際的なソリストたちと参加合唱団が、アルゼンチン・タンゴ様式の現代ローマ・ミサ曲、「ミサ・ア・ブエノスアイレス」と、パルメリの最新曲「サルベ・レジーナ」を演奏します。後者は、世界初演となります。

参加申し込み締め切り：

合唱団：2021年10月15日

個人：2021年10月30日

問い合わせ先：CONCERTS-AUSTRIA、Eメール：[info@misatango.com](mailto:info@misatango.com)

ウェブサイト：<http://www.misatango.com>



## 訃報——カール・ホグセツト、ノルウェー

大変、悲しいお知らせです。去る6月2日、カール・ホグセツトが亡くなりました。カールは、1987年にノルウェー青少年合唱団を創設し、2003年までその指揮者を務めました。また、1971年に創設したグレックス・ヴォカリーズ（歌う集団）では、2019年のこの合唱団の堂々たる最終演奏会まで指揮者を務めました。彼の優れた指導のもと、これらふたつの合唱団はいずれも、ヨーロッパのきわめて名高い合唱コンクールで複数の賞を獲得しています。

カールはまた、ソリストであり、教師であり、研究者でもありました。彼は“シンギング・テクニック”プログラムを構築して、冊子として発表しており、そのなかでは、CDやビデオにも収録されたエクササイズが紹介されています。2007年、カールは合唱の分野における国内外での功績を認められ、ノルウェー国王より、聖オーラヴ勲章騎士章を授けられました。



2021年7月号

合唱界をつなぐボランティア



# IFCMeNEWS

IFCMより、カールが合唱界に遺したレガシーに深い感謝の意を表するとともに、ご遺族、ご友人のみなさまに心からお悔やみを申し上げます。ご冥福をお祈りします。



## 訃報——ジョルディ・スビラ、カタルーニャ

カタルーニャ合唱連盟 (FCEC) より大変、悲しいお知らせです。FCECの創設者であり、1982年以来、その理事を務めていたジョルディ・スビラが亡くなりました。ジョルデ



INTERNATIONAL FEDERATION FOR CHORAL MUSIC monthly electronic newsletter

<http://ifcm.net/>

© 2021 IFCM - All rights reserved



イが合唱界と初めてかかわりを持ったのは、オルフェオ・ラウダーテとオルフェオ・カタールというふたつの合唱団の団員としてでした。まもなく彼は、FCECの前身であるカタルーニャ合唱団事務局(SOC)を通じて全国的な活動に携わるようになり、指揮者オリオル・マルトレルとともに仕事に取り組みました。ふたりは力を合わせてSOCのバルセロナ代表団を組織しました。ジョルディは23年にわたってこの代表団の運営に当たり、その後、FCECの理事長(2000～2003年)、副理事長(2003～2006年)を務めました。

その控えめでたゆみない無私の奉仕により、ジョルディは国際的に有名な指揮者たちとともに、バルセロナとカタルーニャにおける合唱活動の活性化と振興をめざし、いくつもの定期演奏会、指揮者のためのセミナー、マスタークラス、その他のプロたちの活動を組織しました。また、多数の主要な合唱イベントに参画しており、2003年にバルセロナで開催された第15回ヨーロッパ・カンタートもそのひとつです。2014年、ジョルディはバルセロナ市議会により、文化功労賞の金メダルを授与されています。

ジョルディに出会い、ともに働く幸運に恵まれた者たちは、その優れた専門性、含蓄に富む言葉、優しさ、心の広さによって、いつまでも彼を記憶に留めることでしょう。ご冥福をお祈りします。

### 世界の合唱イベントカレンダー——2021年7月、8月

30 June-11 July: Festival of Voices, Hobart, Tasmania, Australia —

<https://festivalofvoices.com/>

5-11 July: 56th Barcelona International Choir Festival goes online! Spain —

<http://www.fcec.cat>

5-11 July: 38th International Choir Festival of Preveza, 27th

International Competition of Sacred Music, Preveza, Greece —

<http://www.armoniachoir.gr/festival/index.php>

6-11 July: Chanakkale International Choir Festival and Competition,

Chanakkale, Turkey — <http://www.canakkalekorofestivali.com/>

7-10 July: International Youth Music Festival I. & Slovakia Folk, Bratislava,

Slovak Republic — <https://www.choral-music.sk>

8-12 July: Musica Orbis Prague Festival Online, Czech Republic —

<https://www.musicaorbis.com/>

11-16 July: Edinburgh Early Music Summer School, United Kingdom —

<http://www.lacock.org>

16-25 July: Europa Cantat Festival 2021, live in Ljubljana or online, Slovenia

— <https://europacantat.jskd.si/>

21-25 July: 12th International Festival of Choirs and Orchestras, Tuscany,

Italy — <http://www.mrf-musicfestivals.com>

26-29 July: International Youth Music Festival II. and Bratislava Cantat I.,

Bratislava, Slovak Republic — <https://www.choral-music.sk>

29 July-1 Aug: 1st Classical Music Summer Festival, Vienna, Austria —

<http://www.concerts-austria.com/summer-festival-vienna>

4-8 Aug: Roma Music Festival 2021, Italy - <http://www.mrf-musicfestivals.com>

18-22 Aug: International Festival of Choirs and Orchestras in Paris, France -

<http://www.mrf-musicfestivals.com>

2021年7月号

合唱界をつなぐボランティア



# IFCMeNEWS

26-30 Aug: Sing Along Concert on Tour Milan, Italy -

<https://www.interkultur.com/>

29 Aug-5 Sep: 11th European Academy for Choral Conductors, Fano, Italy -

<http://www.feniarco.it>

25-29 Aug: 11th International Festival of Choirs and Orchestras, Prague, Czech Republic - <http://www.mrf-musicfestivals.com>

ヨーロッパ合唱連盟 (ECA-EC) 発行の合唱イベントカレンダー  
([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会 (ACDA) のネットワーク、  
コーラルネット ([ChoralNet](#)) で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。